

JIIAの活動

産業用画像機器（工業用カメラ、入力装置、画像処理装置、画像処理ソフト、光学機器、照明装置、計測・解析機器等）の産業用画像分野の発展を目的とし活動しています。

1. 先進的な産業用画像技術に係る標準化の推進
2. 国際的、横断的な標準化事業及びそのための調査研究等への参画、提言
3. 産業用画像分野の理解促進と情報交流のためのセミナー、講演会等の開催
4. 各種標準化会議の内容及び関連資料の開示、提供
5. 産業用画像分野の技術動向、市場情勢等に関する調査・統計資料及び関連情報の開示、提供
6. 国際的、横断的な産業用画像分野の会議、イベント等の主催及び支援
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業、及び前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業

組織図



入会案内

当協会HPの「入会案内」を参照いただき、HPよりご申請ください。

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5-8 機械振興会館512室
TEL:03-6403-1440
一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会
<http://jiia.org>



English Version of this Flyer :

http://jiia.org/en/wp-content/themes/jiia/pdf/jiia_flyer_en.pdf



マシンビジョン規格紹介



マシンビジョン規格の手引き

~ GUIDE TO UNDERSTANDING ~

http://jiiia.org/mv_dl/



カメラの撮像における色再現正確度の測定方法を規定するものです。検査装置に用いる産業用カメラの選定や評価などの手段として活用できます。

<http://jiiia.org/standardization/outline>



SLVS-EC



イメージセンサー・プロセッサ間的高速I/Fです。8B10B コーディングを採用しているため、高速・長距離伝送に適しています。また、マルチレーン機能を使用することで、様々なアプリケーションに対応可能です。

<http://jiiia.org/standardization/outline>



Optical Transmission Media



MV業界では、CMOSセンサーの登場により、信号の高速化が進んでいます。そこでMV用光伝送の実用化に向け、3タイプの検討を開始し、それぞれの具体化を目指しています。

<http://jiiia.org/standardization/outline>



75 Ωの同軸ケーブル一本で12.5Gbpsの広帯域ビデオストリーム伝送、リアルタイムトリガーなどの制御、電源供給できるデジタルインターフェースです。より高速な伝送は複数ケーブルの使用や光ファイバーの利用が可能です。

<http://bit.ly/coaxps>



レジスタアクセスというシンプルなコントロール方式を採用したカメラコントロール仕様です。既存・新規のインターフェースとの共有化により、開発コストの低減に貢献します。

<http://bit.ly/iidc2>



USB 3.0を用いたマシンビジョン用規格です。5 Gbpsの高速性とPC標準インターフェースの組み合わせにより、優れたコストパフォーマンスを提供します。

<http://bit.ly/usb3vi>



カメラのモデル、インターフェースによらず画一的に制御できるアプリケーション環境を提供するカメラコントロール仕様です。制御ソフトウェア開発の効率化に貢献します。

<http://bit.ly/geica>



Gigabit Ethernetを利用したマシンビジョン用規格です。高速かつ長距離伝送を低コストで実現することが可能です。ネットワーク接続によるマルチカメラ構成も容易に実現可能です。

<http://bit.ly/gigev>



EMVA1288は、カメラ・イメージセンサーの仕様測定、及び表示方法を規定した規格です。数学的モデルに基づく各パラメーターを定義された手順で測定し表示することにより、製品仕様の比較が容易になります。

<http://bit.ly/em1288>



信頼性の高い高速デジタルインターフェースです。製品群も多く、用途ごとに最適な製品を選択することができます。PoCLでは、電源も同一ケーブルで供給可能です。

<http://bit.ly/camelink>



Lighting Standard



照明設計の方法論、照明製品の性能測定や仕様表記などを対象に、規格化・ガイドライン化に取り組んでいます。GenICamの照明制御対応の活動にも参加しています。

<http://bit.ly/lightstd>



広帯域伝送に対応したデジタルインターフェースです。1レーンあたり3 Gbpsの電線および10 Gbpsの光ケーブル伝送にも対応しています。低ジッタのリアルタイムトリガが可能です。

<http://bit.ly/camlhs>



MV用レンズマウントとして、多様化する撮像センサーに適したマウント仕様を標準化しています。現在、S、NF・NF-J、TFL・TFL-II、及びCFL・CFL-II・CFL-IIIの各種マウント規格のほか、選定の基となるマウント径の規格があります。

<http://bit.ly/lensstd>

